

R7 EF ポリマー施用試験結果 馬鈴薯（ホッカイコガネ）

EF ポリマーを 3 kg/10a を培土時に施用(APV)。莖数を揃えて調査地点を選定し、3 株坪堀調査を実施した。

試験区において、個数、収量ともに多く、特S、Sサイズの個数が多い傾向が見られた(表1、表2)。MLサイズの個数はあまり差がなかった。規格内収量を 10a 換算すると、EF ポリマーの散布費用を上回る収量であった(表3)。二次生長や象皮の発生程度に差は無かった。

表1 3株調査結果 収穫個数(個)

個数	試験区1	試験区2	対照区1	対照区2
S	5	7	3	4
ML	25	24	28	25
LL	1	0	0	0
特S	9	7	3	4
規格外	3	1	1	2
合計	43	39	35	35

表2 3株調査結果 収量(g)

収量	試験区1	試験区2	対照区1	対照区2
S	279.0	392.5	167.5	215.5
ML	2,265.5	2,229.5	2,374.5	2,339.5
LL	210.0	0.0	0.0	0.0
特S	371.5	289.5	123.0	168.0
規格外	83.5	34.5	33.5	56.0
合計	3,209.5	2,946.0	2,698.5	2,779.0

※二次生長、象皮等も含む。

表3 10a換算収量

収量	試験区1	試験区2	対照区1	対照区2
3株規格内(g)	3,126.0	2,911.5	2,665.0	2,723.0
10a換算(kg)	4,824.1	4,493.1	4,112.7	4,202.2



圃場の様子（撮影日：6月16日）

試験区



対照区

